

日本泌尿器科学会甲信越合同地方会

第 413 回 新潟地方会

第 119 回 山梨地方会

第 213 回 信州地方会

学術大会プログラム

学術大会 日 時：令和 7 年 6 月 7 日（土） 午後 2 時 00 分開会
会 場：シャトレゼホテル長野 3 階「飛翔」
〒380-0922 長野市七瀬 1-1 TEL：026-219-2440
現地および Web 配信によるハイブリッドにて開催いたします。
参加費：3,000 円（現地参加の先生は、現地受付の際にお支払い願います）

Web 参加の先生は、事前に銀行振込にてお支払いをお願いいたします。
※参加費のお支払いは、6 月 5 日（木）までをお願いいたします。
※当日、急遽 Web 参加いただきました先生におかれましては、後日参加費のお振り込みをお願いいたします。

振込先 口座名義：日本泌尿器科学会甲信越合同地方会 (ニホンヒニョウキカガツカイコウシンエツゴウドウチホウカイ) 銀行名：八十二銀行 支店名：信州大学前支店 店番号：421 普通預金 口座番号：478468
--

- * 本会参加により、専門医認定単位を取得することができます（機構専門医更新用 2 単位）。
- * 発表 6 分、討論 3 分です（時間厳守をお願いします）。
- * プレゼンテーションは Windows Power Point のみ受け付けます（枚数制限なし）。
- * 発表の受付時間は 13：00～13：30 までとします。データは USB メモリーにてご持参ください。
- * 信州地方会会員は、抄録（400 字以内）を当日までに事務局へお送りください。
- * **日本泌尿器科学会会員の先生は、必ず会員カードをご持参ください。**

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学医学部泌尿器科学教室内
日本泌尿器科学会 信州地方会事務局
TEL：0263-37-2661 FAX：0263-37-3082
E-mail：chihoukai-uro@shinshu-u.ac.jp
皆川倫範

<Web 参加について>

- * ZoomにてLive 配信を行います。
- * Web 参加の場合、日本泌尿器科学会の規程により、参加単位取得には開催時間の1/2以上の地方会参加（視聴）が必要です。
- * 視聴時間および参加費納入の確認後、参加証をお送りいたします。地方会の視聴時間が1/2に満たない場合および参加費納入が確認できない場合は、参加証をお送りできませんので予めご了承ください。
(7月末日までに参加証が届かない場合は、ご連絡をお願いいたします)
- * Zoomに入る際に、メールアドレス、名前（所属・氏名）を入力し、ログインしてください。
当日、急遽ご参加いただきました先生におかれましては、所属・氏名を確認するため、メールアドレスへお問い合わせをさせていただくことがあります。
- * 発行された参加証を専門医認定更新申請時に添付してください。自動登録されません。

Web 視聴は下記 URL または、ミーティング ID・パスコードより
メールアドレス・名前（所属・氏名）を入力し、ログインしてください

<https://shinshu-u-ac-jp.zoom.us/j/99555756187?pwd=xdaBbkq3kbpKU2AI5acDS2wKArNrMf.1>

ミーティング ID : 995 5575 6187 パスコード : 788704

(セミナーは Teams での配信となりますので、専用 URL よりログインしてください)

- * 地方会終了後、甲信越 Urological Cancer Seminar を開催いたします。
セミナーは Teams での配信となりますので、ログインし直してください。
(詳細は別紙をご参照ください)

<奨励賞の投票方法について>

奨励賞（各地方会賞：山梨、新潟、信州）は卒後 10 年目までの発表者が対象となります。選考資格者は、全演題を聴取した方に限られます。
全演題終了後、各地方会から 1 題を選び投票をお願いいたします。
現地参加の方は、当日投票用紙にて投票をお願いいたします。
Web 参加の方は、信州地方会事務局 (chihoukai-uro@shinshu-u.ac.jp) へ
6 月 9 日（月）正午までにメールにて投票をお願いいたします。
発表は後日とさせていただきます。受賞された先生へは後日、賞状等をお送りいたします。

プログラム

<開会の辞> 14:00 ~ 14:05

秋山佳之 (信州大学)

<セッション1> 14:05 ~ 15:25

座長 齊藤徹一 (信州大学)

【奨励賞候補演題・山梨】

1. 急性陰嚢症に対する山梨大学の取り組み効果の検証

山梨大学医学部附属病院 泌尿器科

阿部彬良、町田有理奈、佐藤 毅、志村寛史、望月孝規、吉良 聡、澤田智史、三井貴彦

2018年10月以降当院では小児救急医療センターと連携し、夜間の急性陰嚢症を迅速に対応する体制を構築した。過去20年の記録を参考にし、体制構築後の効果を検討したので報告する。

【奨励賞候補演題・信州】

2. 生体腎移植後に発症した膀胱尿管逆流症に対して内視鏡下逆流防止術が奏功した1例

信州大学医学部附属病院 泌尿器科

石塚貴大、横田勝彦、小柴将史、井上貴浩、塩崎政史、小川典之、原 寛彰、齊藤徹一、上野 学、皆川倫範、秋山佳之

77歳女性。腎移植後、急性腎盂腎炎を繰り返した。原因精査のために施行した排尿時膀胱尿道造影でGradeⅢの膀胱尿管逆流を認めた。内視鏡下逆流防止術 (Deflux 注入療法) が奏功した。

【奨励賞候補演題・信州】

3. 馬蹄腎に発生した腎癌術前評価において3D画像解析システムが有効であった1例

信州大学医学部附属病院 泌尿器科

高見澤宙伸、石塚貴大、松永昂祐、鈴木啓真、横田勝彦、小柴将史、井上貴浩、塩崎政史、小川典之、後藤正博、原 寛彰、齊藤徹一、上野 学、皆川倫範、秋山佳之

症例は70歳男性。馬蹄腎の右半腎に腫瘍を認めた。3D画像解析システム (SNIPES VINCENT) を用いて峽部の血流支配を確認し、峽部離断及び右半腎摘除術を施行した。

【奨励賞候補演題・山梨】

4. 進行性認知機能障害を契機に診断に至ったPTHrP産生腎細胞癌の1例

山梨大学医学部附属病院 泌尿器科

田中伯和、矢野文彬、樋川昂史朗、廣瀬敬一郎、大竹裕子、澤田智史、三井貴彦

68歳女性。進行性認知機能障害を主訴に神経内科を受診。高Ca血症、左腎腫瘍を認め、PTHrP産生腎癌によるものと診断し、開腹腎摘除術を施行した。術後に認知機能が改善した1例を報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

5. 偶発的に発見された両側褐色細胞腫瘍の1例

1) 新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科、2) 新潟大学 特命理事
坪谷啓汰¹⁾、石崎文雄¹⁾、星野華奈¹⁾、鳥羽智貴¹⁾、山名一寿¹⁾、星井達彦¹⁾、
小原健司¹⁾、齋藤和英¹⁾、富田善彦^{1) 2)}

症例は48歳男性。検診で偶発的に両側副腎腫瘍を指摘された。各種検査から両側褐色細胞腫の診断となり、二期的に手術（右側：開腹手術、左側：腹腔鏡下手術）を行った。文献的考察を交えて報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

6. ペムブロリズマブにより長期SDを維持している前立腺小細胞癌の1例

新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 泌尿器科
中澤 徹、丸山 亮、渡邊和博、高橋英祐、照沼正博

前立腺小細胞癌(SCCP)は稀な組織型であり、通常の前立腺癌と比して予後は不良である。今回我々は、SCCPかつMSI-Highの症例に対し、化学療法後ペムブロリズマブが奏功し、長期生存が得られている1例を経験したので報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

7. 前立腺癌と肺小細胞癌の重複癌における多発リンパ節転移の1例

新潟県立中央病院 泌尿器科

原田峻輔、若杉優樹、石田恭平、村田雅樹、片桐明善

肺小細胞癌と重複した前立腺癌において、内分泌療法後にNSE/ProGRPの増加と骨盤リンパ節転移の増大を認め、鑑別診断のため生検が施行された。文献的考察も合わせて報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

8. 尿道異物による膀胱結石および膀胱直腸瘻の1例

山梨大学医学部附属病院 泌尿器科

樋川昂史朗、矢野文彬、田中伯和、廣瀬敬一郎、大竹裕子、澤田智史、三井貴彦

70代男性、頻尿を主訴に受診。自慰目的に尿道に挿入した異物による膀胱結石、膀胱直腸瘻、腎機能低下を認め、膀胱切石術、膀胱瘻造設術、人工肛門造設術を施行した1例を報告する。

休憩 5分

<セッション2> 15:30 ~ 16:40

座長 星井達彦 (新潟大学)

【奨励賞候補演題・新潟】

9. TCA回路に関わる代謝酵素欠損性腎癌の2例

新潟県立がんセンター 新潟病院 泌尿器科

保坂仁哉、晝間 楓、中山 亮、白野侑子、谷川俊貴

コハク酸デヒドロゲナーゼ(SDH)欠損性腎癌およびフマル酸ヒドラターゼ(FH)欠損性腎癌は、2016年WHO分類で新しく提唱された組織型である。今回我々は稀な腎癌を1例ずつ経験した。

【奨励賞候補演題・信州】

10. 卵管内膜症と診断された膀胱腫瘍の1例

信州大学医学部附属病院 泌尿器科

松永昂祐、上野 学、横田勝彦、井上貴浩、塩崎政史、小川典之、後藤正博、原 寛彰、皆川倫範、秋山佳之

54歳女性。子宮体癌の術前MRIにて膀胱腫瘍を指摘され当科紹介された。病変に対しTURBTを施行し、病理組織診断は卵管内膜症であった。同疾患は非常に稀な疾患のため報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

11. 陰囊から鼠径部へ風呂道具が穿通した杵創の1例

新潟市民病院 泌尿器科

村下竜一、山崎裕幸、結城恵里、笠原 隆、今井智之

70代男性。入浴中に風呂場で転倒し風呂道具が陰囊から鼠径部へ穿通し杵創を負った。救急搬送後デブリードマンを施行した1例を経験したので若干の考察を加え報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

12. 乳糜尿をきたし、腎周囲リンパ管遮断術を行った1例

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科

柳 佳輝、田崎正行、安楽 力、池田正博、石川晶子、佐波達朗、齋藤和英、富田善彦

症例は28歳男性。白濁尿、左季肋部痛を主訴に、当科を精査加療目的で紹介受診した。特発性の乳糜尿に対して行った診断方法、治療について文献的考察を交えて報告する。

【奨励賞候補演題・山梨】

13. 前立腺膿瘍を契機に眼内炎を発症した2症例

山梨大学医学部附属病院 泌尿器科

町田有理奈、阿部彬良、志村寛史、望月孝規、吉良 聡、澤田智史、三井貴彦

感染性眼内炎の発症は稀であり、視力予後が極めて悪い疾患である。当院で経験した前立腺膿瘍を契機に感染性眼内炎を発症した2症例について報告する。

【奨励賞候補演題・新潟】

14. 右精巣癌に対するブレオマイシン、エトポシド、シスプラチン化学療法4コース後の孤発性骨転移に対する定位放射線治療により完全寛解が達成された症例

新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、1) 泌尿器科、2) 放射線治療科、

3) 病理診断科、4) 放射線診断科

有波健太郎¹⁾、川口 弦²⁾、伊藤梢絵³⁾、長谷川剛³⁾、池田洋平⁴⁾、原 昇¹⁾、西山 勉¹⁾

42歳男性が1か月前からの右精巣腫脹に気づき、当科を受診した。AFP2058 ng/mL、HCG136.2 mIU/mL、CTで傍大動脈リンパ節腫脹を認めた。右精巣癌、傍大動脈リンパ節転移の診断で右高位精巣摘除術を行った。病理では卵黄嚢腫瘍、胚性癌、奇形腫、絨毛癌を含む混合胚細胞腫瘍であった。術後のAFP593.1 ng/mL、HCG1.4 mIU/mLとなった。pT1N1M0の診断でブレオマイシン、エトポシド、シスプラチンの化学療法を4コース行った。AFPの低下が半減期の低下よりわずかに悪く、残存病変の検索で、CTでは新たな転移を指摘できなかったが、全身MRIで仙骨左側にDWI高信号の結節を認め、骨転移を強く疑った。左仙骨の孤発性骨転移と診断し、同部位に定位放射線治療36.8Gy/8fを行った。施行後同部位の集積は消失し、新たな転移を認めていない。

【奨励賞候補演題・山梨】

15. 当院における吸引式尿管アクセスシースを用いた f-TUL の初期経験

富士吉田市立病院 泌尿器科

大塚礼嗣、望月恵音、葛西義史、高橋宣弘、武田正之

近年、柔軟で吸引可能な尿管アクセスシース (FANS) が導入された。当院において FANS を用いて f-TUL を受けた腎結石患者 5 名を対象とし後方視点的に検討した。当院における初期経験について文献を踏まえ報告する。

休憩 5分

<セッション3> 16:45 ~ 17:55

座長 望月孝規 (山梨大学)

【奨励賞候補演題・新潟】

16. 経皮的膀胱瘻造設術後に緊急凝固止血術を要した 2 例

柏崎総合医療センター 泌尿器科

西山紘貴、有波健太郎、羽入修吾

経皮的膀胱瘻造設術は一般的な手技である。膀胱瘻造設キットは、cannula 型、trocar 型、Seldinger 法に準じた方法の 3 種類に分けられ、当院は cannula 型を採用している。症例 1 は 79 歳女性、症例 2 は 95 歳男性で、尿道カテーテルの長期留置者であった。外来での ADL と UTI の改善、カテーテル交換時の利便性向上を目的として、膀胱瘻造設術を施行した。手術直後に穿刺部より膀胱内への出血が持続し、経尿道的凝固止血術を要した。過去の報告を踏まえ、より安全に膀胱瘻造設術を行う方法について考察する。

【奨励賞候補演題・信州】

17. 悪性腫瘍が疑われた外尿道口腫瘍の 3 例

1) 北信総合病院、2) 長野県立こども病院

栗田知典¹⁾、高澤拓哉¹⁾、鈴木智敬²⁾、杵渕芳明¹⁾

症例は 70-79 歳女性、20-30mm 大の外尿道口腫瘍を認めた。全例で MRI を行い、悪性腫瘍も否定できない所見であった。切除した結果、病理診断は全例、尿道カルンクルであった。

【奨励賞候補演題・信州】

18. 切除不能進行性膀胱癌 2 例にエンホルツマブ+ペムブロリズマブ併用療法投与後に膀胱全摘を施行した経験

山梨県立中央病院 泌尿器科

姫野正敬、上野優拓、松田 陽、大池 洋、鈴木 中

エンホルツマブ+ペムブロリズマブ併用療法 (EV+Pem) が切除不能進行性尿路上皮癌に対して適応となった。当科で両側水腎症を伴う切除不能進行性膀胱癌 2 例に EV+Pem 投与後に膀胱全摘を施行した経験を報告する。

【奨励賞候補演題・信州】

19. 外傷性陰茎海綿体出血に対し自己陰茎結紮止血後に陰茎壊死を生じた外陰部異物装着の1例

長野赤十字病院 泌尿器科

蜂谷 守、天野俊康、松本侑樹、今尾哲也

55歳。感情障害、自傷の尿道下裂後陰茎湾曲修復術。騎乗位型外傷による陰茎異物挿入部からの出血に対し自己陰茎結紮後、陰茎腫脹、下腹部発赤、発熱を認めた。感染治療後、陰茎切除術を行った。

20. ホルミウムレーザー前立腺核出術後に前立腺床に発生した尿道結石症の2例

長野松代総合病院

清水孝明、青木彬鷹、蜂谷 守、中川龍男

ホルミウムレーザー前立腺核出術後に前立腺床に結石を形成した2例を報告する。経尿道的尿道碎石術をホルミウムレーザーを用いて行った。術後は再発なく経過している。

21. 長野市民病院での経尿道的電気凝固術の検討

長野市民病院 泌尿器科

飯島和芳、上菌 拓、雫田繕雅、羽場知己、山本哲平、加藤 晴朗

経尿道的電気凝固術 (Transurethral electrocoagulation : TUC) は、下部尿路出血に対する緊急処置として行われることが多いが、その詳細な検討は乏しい。2014年から2023年の10年間に当院でTUCを施行した43例を対象に、臨床的背景および治療経過について後ろ向きに検討した。

22. 1日の排尿回数が3回以下の症例（仮称：ためしよん）についての検討

南長野医療センター 篠ノ井総合病院 泌尿器科

中沢昌樹、鈴木尚徳、後藤正博

当院で排尿日誌を確認した4747例のうち、乏尿ではないにもかかわらず、1回排尿量が多いために1日の排尿回数が3回以下であった症例を6例みとめた。若干の考察を加え報告する。

<閉会の辞> 17:55 ~ 18:00

新人紹介

甲信越 Urological Cancer Seminar 開始予定

セミナーはTeamsでの配信となりますので、専用URLよりログインしてください

会場案内図

